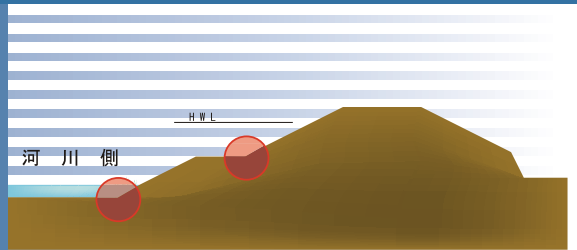


# クレーバベース 333S型シリーズ



## ～施工の省力化・工期の短縮・工費の軽減～

河川工事の多くは非出水期の短期間での施工という厳しい条件で行われています。  
工費の縮減・施工の省力化が求められる中で、プレキャスト化は現実に見合った工法として適しています。

クレーバベース333Sシリーズは、1ロット10mを3分割したコンクリートボックスタイプの製品を布設することにより、従来方法の施工（10mスパン毎に完成させていく2サイクルシステム）を1サイクルで合理的に施工することができ、工期を短縮、プレキャスト化による施工の省力化が図れ、総体的に工費の節約が可能です。

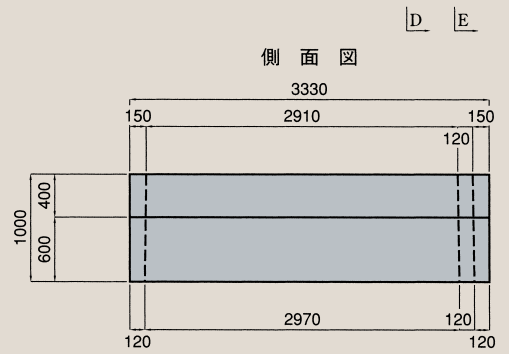
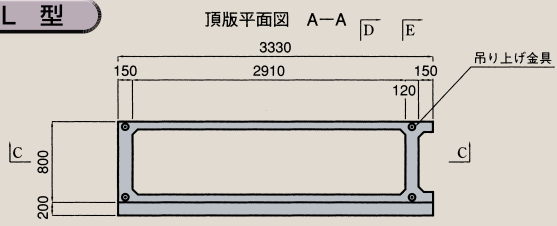
### 特長

1. 1スパン10mを3分割してあり、施工性を考慮してあります。
2. 3分割された製品に中詰コンクリートを打設すれば、一体化が図れます。
3. 製品の据付け後、専用金具で簡単に施工できます。
4. 基礎工の水替費用が軽減できます。

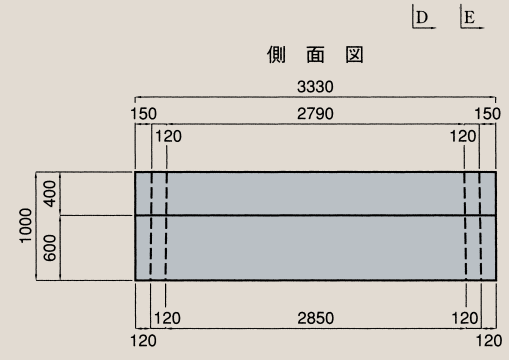
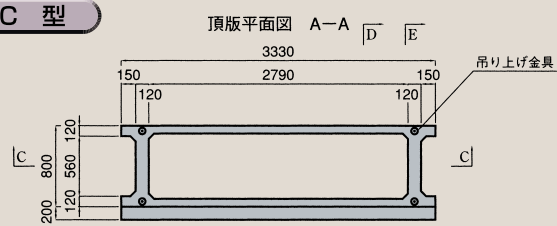


クレーバース333 (SA型)

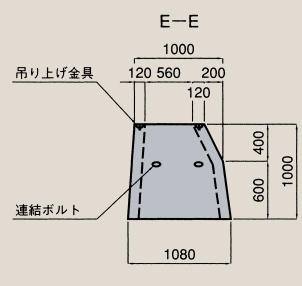
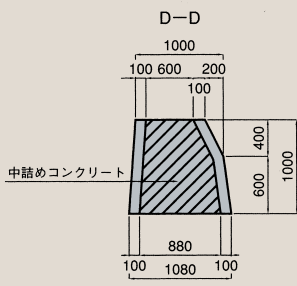
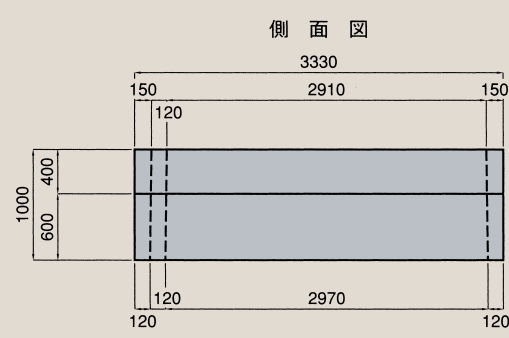
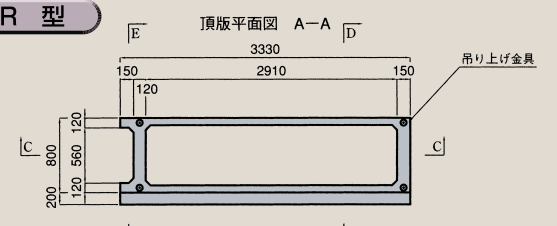
L 型



C 型

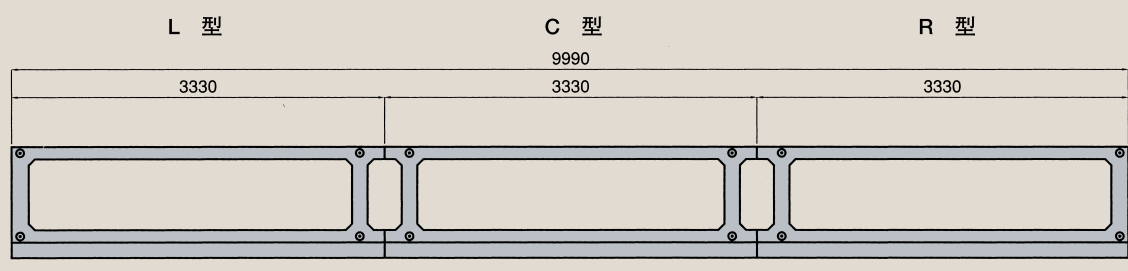


R 型



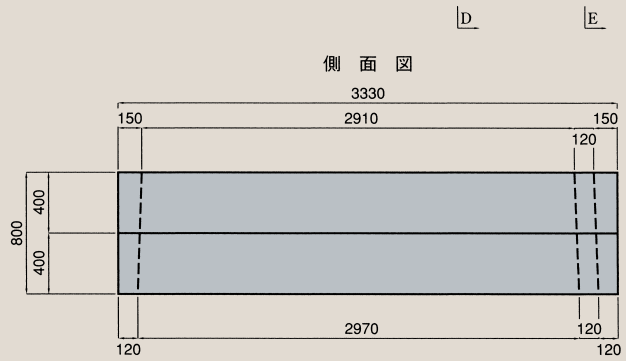
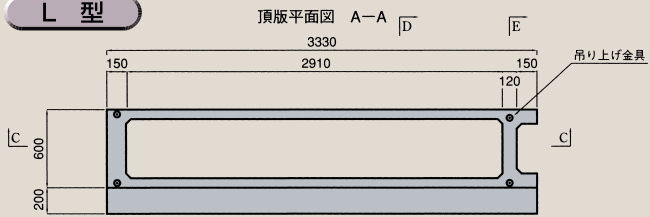
名称	単位	数量	
		C 型	L, R 型
体積	m <sup>3</sup>	0.846	0.849
参考重量	kg	2030	2030
連結コンクリート	m <sup>3</sup>	0.197	0.099
中詰めコンクリート	m <sup>3</sup>	2.234	2.329

連結状況図

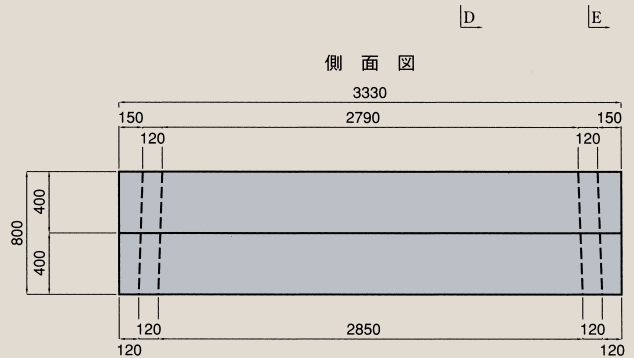
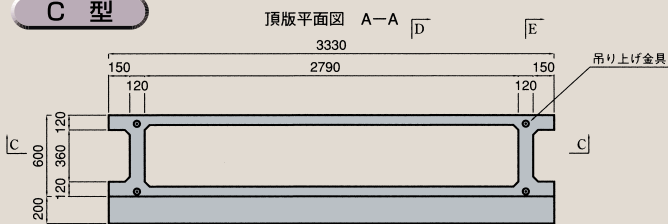


# クレーンベース333 (SB型)

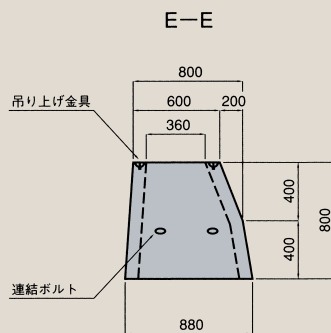
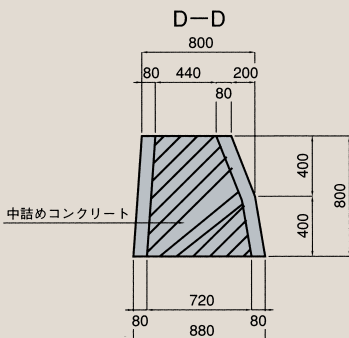
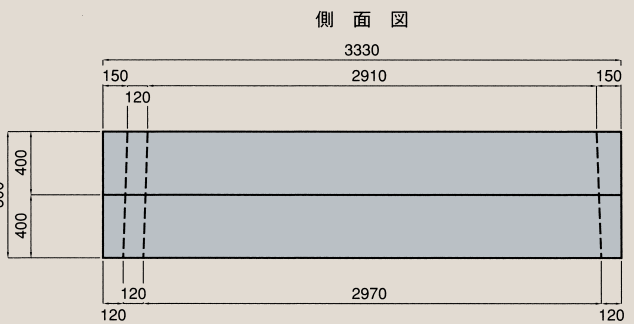
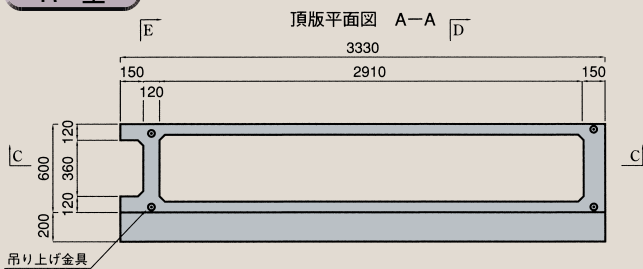
## L 型



## C 型



## R 型



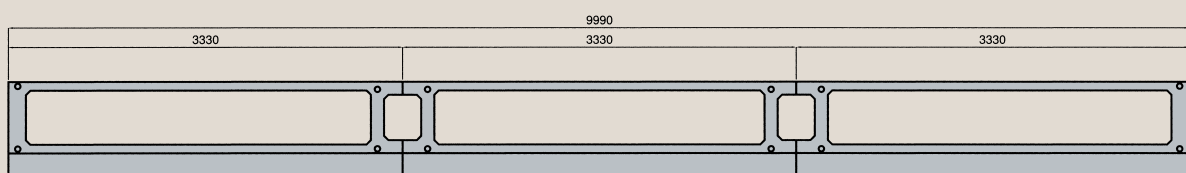
名称	単位	数量	
		C 型	L, R 型
体積	m <sup>3</sup>	0.537	0.533
参考重量	kg	1289	1279
連結コンクリート	m <sup>3</sup>	0.112	0.056
中詰めコンクリート	m <sup>3</sup>	1.402	1.462

## 連結状況図

### L 型

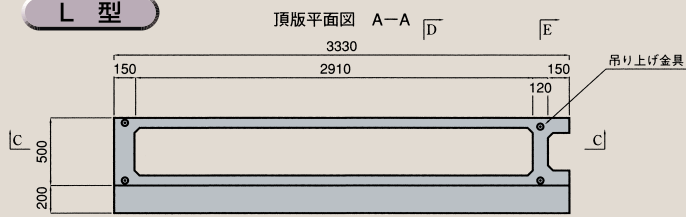
### C 型

### R 型

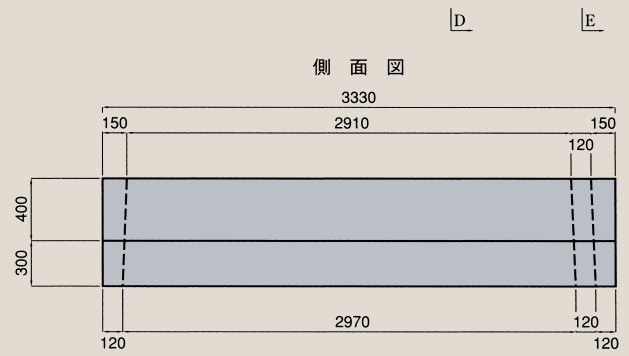


クレーバース333 (SC型)

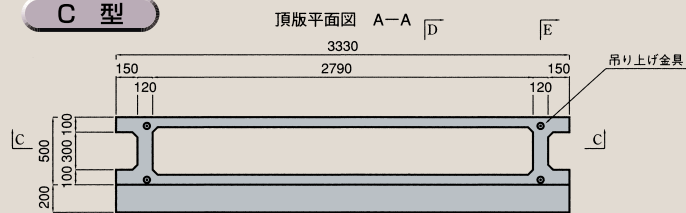
L 型



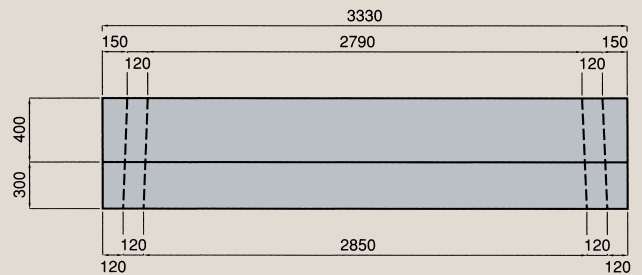
側面図



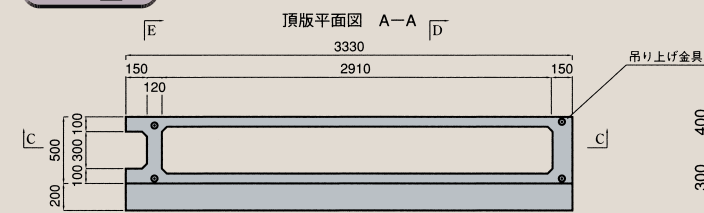
C 型



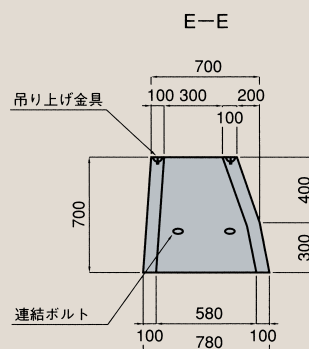
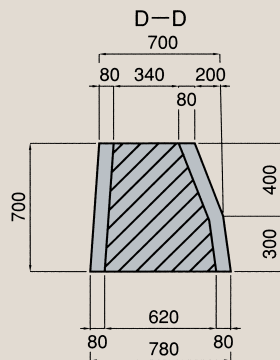
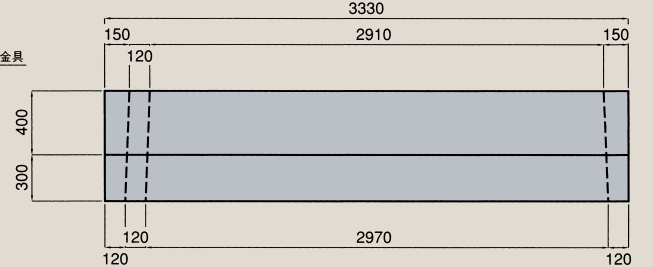
側面図



R 型



側面図



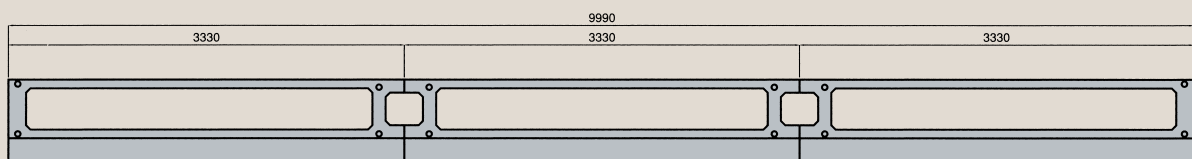
名称	単位	数量	
		C 型	L, R 型
体積	m <sup>3</sup>	0.439	0.440
参考重量	kg	1054	1056
連結コンクリート	m <sup>3</sup>	0.085	0.042
中詰めコンクリート	m <sup>3</sup>	1.014	1.056

連結状況図

L 型

C 型

R 型



## 施工状況



**1** 製品を施工位置に布設します



**2** 製品布設完了



**3** 高さの半分までコンクリートを打設します



**4** 天端までのコンクリートを打設します

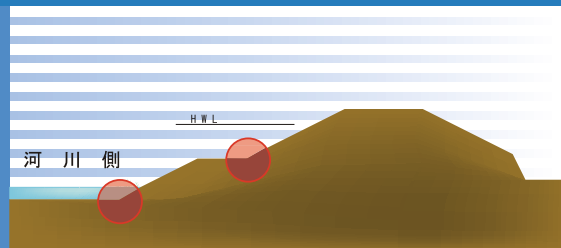


**5** 天端の表面を仕上げします



**6** 完了

# クレーバース 500S型シリーズ



プレキャスト基礎工500型は現場発生コンクリート塊を活用したリサイクル工法、代替型枠として利用する残存型枠工法など、従来の利点を継承しながら改良を加え施工効率を向上させました。基礎工500シリーズは施工の省力化、コスト低減に大きく貢献し時代のニーズに応えます。

## 特長

1. 製品を長尺化し、据え付けにかかる時間を大幅に短縮します。
2. 連結部の間詰めをなくし、連結コンクリートの打設が不要になりました。
3. 部材厚を薄くして、中詰め容積を拡張したことから、コンクリート塊の投入量を増やすことが可能です。
4. 基礎工の水替費用が軽減できます。

## コンクリート塊投入工法施工上の留意点

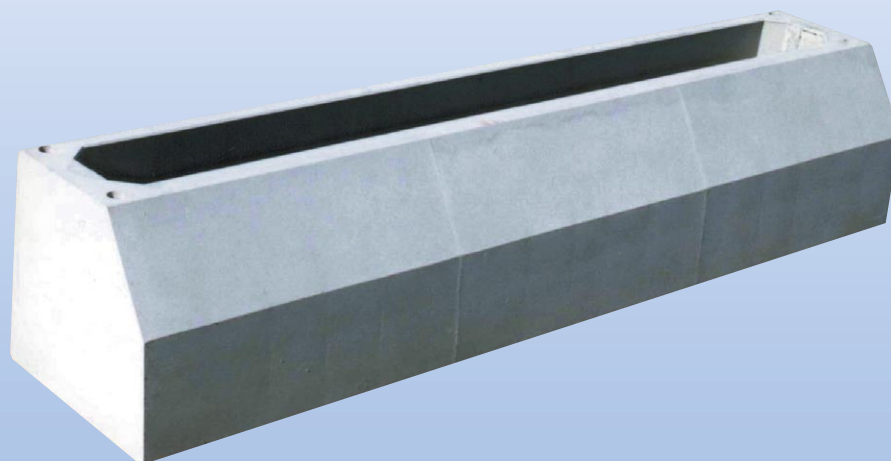
■注入モルタル量はコンクリート塊の大きさに左右されることから通常10～30cmの大きさでは中詰めの容積の約70%程度を占め、モルタル量は約30%程度を目安として下さい。

### 【標準型】

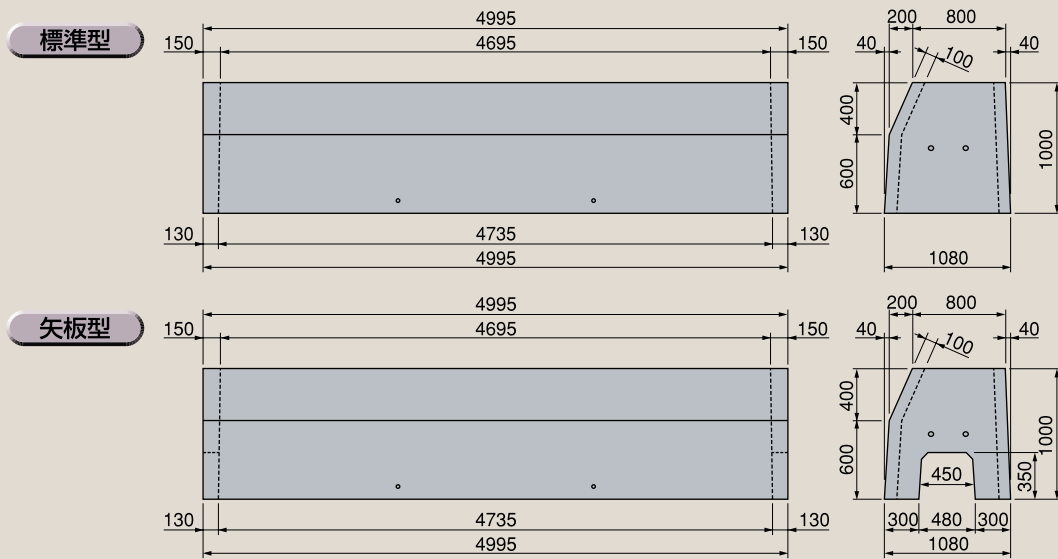
名称	単位	SA型	SB型	SC型
体積	m <sup>3</sup>	1.253	0.960	0.685
重量	kg	3000	2304	1644
中詰め体積	m <sup>3</sup>	3.702	2.157	1.663

### 【矢板型】

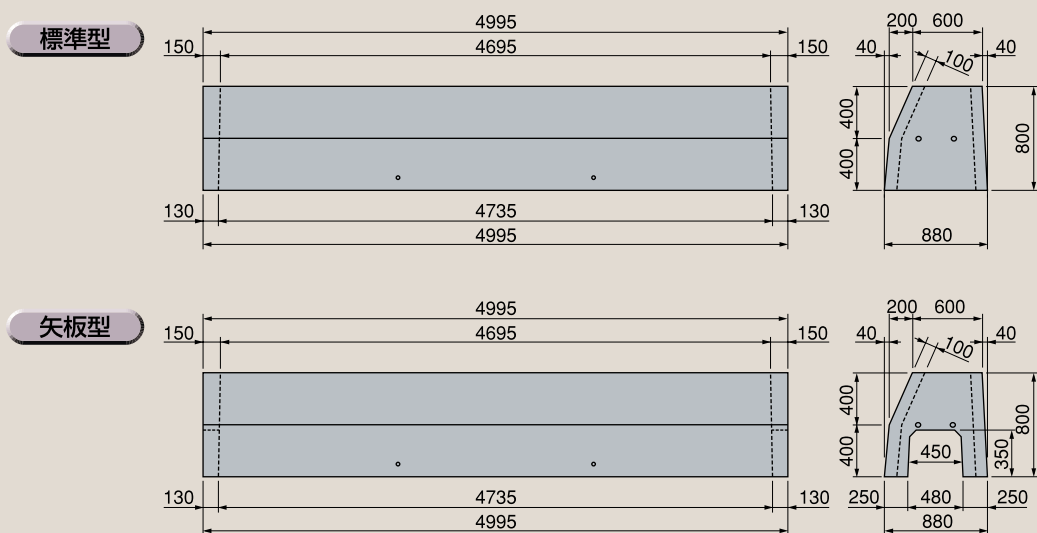
名称	単位	SA型	SB型	SC型
体積	m <sup>3</sup>	1.210	0.916	0.651
重量	kg	2904	2208	1560
中詰め体積	m <sup>3</sup>	3.745	2.201	1.697



## クレーバース500 (SA型)



## クレーバース500 (SB型)



※製品の底幅880が800のものも可能です。

## クレーバース500 (SC型)

